

考古学・歴史の博物館・コレクション国際委員会（ICMAH）の年次大会は、2019年9月2日から4日に京都で開催します。今年のテーマは：

## 現代考古学における博物館の問題を考える

### Reconsidering Museums versus Contemporary Archaeology

#### テーマについて

ICMAH は ICOM のなかで最も古い国際委員会の一つで、考古学・歴史の専門分野について、一番多くのテーマを持っています。考古・歴史博物館、そしてそのコレクションは、すべての時代、伝統の記憶を保存しつつ、何世紀にもわたり、人類の知識を未来へ継承することをいつもその使命としてきました。

今年の ICMAH 大会では、現代考古学における博物館の役割について、あらためて検討したいと思います。かつて、どの国においても博物館は考古学活動、考古学研究の中心であり、それは今も多くの地域で変わりません。

しかしながら、この伝統的な博物館と考古学との関係は、開発に伴う事前考古学（埋蔵文化財調査）や学術調査の増加とともに変わってきました。また、複数の考古学調査機関により、同じ地域の資料やデータへのアクセスが分散することもあります。こうした状況のなか、今日、多くのコレクションが博物館以外の施設で展示されることも珍しくなくなりました。一方、地域の考古資料、出土品、コレクションの保管、研究を行っているのは博物館である、と認識している市民は少なくありません。

この認識のズレをどのように考えるべきでしょうか。そして、どのようにすれば、現代考古学における「ハブ（結節）」として、博物館は、活発で、いつも新しく、魅力的な施設であり続けられるでしょうか。また、地域社会に豊かな考古学、歴史を届けるために、博物館、調査機関はどのように協力していくべきでしょうか。今回のテーマは、地域における「文化をつなぐハブ」として、博物館のもつ様々な価値について、検討を行う機会になるでしょう。ここで重要なアプローチとなるのは、考古・歴史博物館が地域の未来にどのように役立っているか、その使命について、ビジョンを広げることと考えます。

## セッション

### セッション1 考古学・コレクション・調査研究

博物館は、限られた時間、資金、資源のなかで、どのように事前考古学（埋蔵文化財調査）に関わり、コレクションを増やし、研究することができるでしょうか、また、すべきでしょうか。

博物館は、どのようにコレクションやデータの分散化に対処し、地域の博物館の「ハブ」として、それらを貴重なコレクションとして、統合することができるでしょうか。そうするためには、他の調査研究機関（大学、研究所、遺跡調査組織など）と、どのような関係を築けばいいのでしょうか。専門家だけでなく、市民がアクセスできる情報を作り上げるにはどのような課題があるのでしょうか。あるいは、別の方法で、博物館が自分たちのコレクション、資料を確保できるのであれば、事前考古学（埋蔵文化財調査）やその出土品は博物館には必ずしも重要ではないのでしょうか。

### セッション2 展示関連

博物館の展示技術には、より良い理解に向けて、つねに新しい方法が用いられます。考古・歴史博物館において、こうしたテクノロジーを統合するうえで、課題、利点は何でしょうか。どのように考古・歴史博物館のネットワーク（SNS 利用を含む）により、広範な来場者の要求（テーマ別、仮想現実など）に応え、遺跡、コレクションの多様な評価を行えるでしょうか。

### セッション3 地域の仲介者として

博物館の使命の一つは、地域社会に教育環境を提供することです。博物館と地域社会は、今どのような関係にあるのでしょうか。博物館は、コレクションを通じて、地域社会に論争や参加を提供しているのでしょうか？ 今日、考古・歴史博物館は、その地域の十分な「文化のハブ」となっているのでしょうか。

### セッション4 考古学の諸活動における文化のハブに関する議論

このセッションでは、考古・歴史博物館に関して、「文化のハブ」という概念について、種々の見解を披露し、議論することになるでしょう。文化のハブとはいったい何なのか。昔はどうだったのか。今日の認識、また、未来へのビジョンは？ 考古・歴史博物館における、様々な場面のケーススタディ発表を期待しています。また、このセッションの終わりには、セッション参加者で、考古・歴史的テーマの観点から問題を掘り下げ、諸課題について検討したいと思います。このセッションのプレゼンテーションは、発表形式でも行われます。

## プログラム

3年に一度のICOM会合では濃密なプログラムがあるため、ICMAH年次総会は、プレナリーセッション後の午後3回に開催されます。

9月2日（月） 考古学・コレクション・調査研究

9月3日（火） 展示関連／地域の仲介者として

9月4日（水） 討論／委員選挙

9月5日（木） オフサイト・ミーティング

## オフサイト・ミーティング

オフサイト・ミーティングは、定員が40名（事前予約）で、大阪（大阪歴史博物館・大阪城）で開催されます。オフサイト・ミーティングへの参加は無料で、ICMAHが招待します。参加希望者は年次総会申し込み書への記入を必ず行ってください。

オフサイト・ミーティングへの参加は無料で、ICMAHが招待します。参加人数を確定するために、事前登録が必要です。多数の場合、ICMAHメンバーを優先します。

大阪歴史博物館は、7世紀の古代宮殿遺跡を備えた、歴史博物館で、2001年に開館しました。10階では、難波宮の復元が展示され、古代から現代まで、大阪の都市の歴史を扱っています。

大阪城（大阪歴史博物館から徒歩約20分）は、日本で最も有名な城の一つです。16世紀の日本の統一に大きな役割を果たしました。

## 暫定プログラムは次のとおりです。

9月5日

午前9時：バスが大阪歴史博物館に向けて、京都出発（集合場所は後ほど）。

午前10時30分：大阪歴史博物館到着

午前10時30分～午後1時：

- ・大阪歴史博物館長からのご挨拶
- ・館藏品、歴史についての説明（20分）
- ・学芸員によるガイドツアー（1時間）
- ・博物館学芸員との意見交換（40分）

午後1時から3時：昼食、自由時間

午後3時から5時：大阪城と天守閣博物館

午後5時半：京都に向けて出発

午後7時：京都に到着、解散

## 参加に関わる情報

会合の使用言語は、英語です。通訳は、経費の関係で用意できません。

ICMAH 年次総会への参加は無料ですが、旅費、宿泊費用は、ICMAH では賄いません。

発表のすべては、ICMAH 公式ウェブサイトで、公表されます。

会合への参加（とくにオフサイト・ミーティング）には登録が必要です。

大会の詳細情報は次のサイトを参照し、

<http://network.icom.museum/icmah>

大会資料集はここからダウンロードしてください。

<http://network.icom.museum/icmah/events/coming-conference/>

ICMAH フェイスブックからも最新ニュースをご覧になれます。

<https://www.facebook.com/ICOMICMAH/>

## 発表申し込みと登録

発表申し込みと登録は：

**2019年3月31日** 発表申し込みの締め切り

発表申し込みを上記以前に送ってもらえば、旅の準備がスムーズにできるよう、10日以内に審査します。

**2019年6月1日** 登録申し込み、オフサイト・ミーティングの締め切り

## 発表申し込み書

---

### 個人情報

名前（名）：

名前（姓）：

国：

機関：

E-mail：

電話番号：

住所：

セッション：

要旨（200 語以内）

2019 年 3 月 31 日までに、[icmahsecretary@gmail.com](mailto:icmahsecretary@gmail.com)へこの用紙を送ってください。

## 登録申し込み書

---

### 個人情報

名前（名）：

名前（姓）：

国：

機関：

E-mail：

電話番号：

住所：

---

### 登録情報

旅行日：

同伴者情報

旅に関する質問（さらに情報が必要な場合）

\*\*\*オフサイト・ミーティングへの参加：はい/いいえ

2019年6月1日までに、[icmahsecretary@gmail.com](mailto:icmahsecretary@gmail.com) この用紙を送ってください。